

JR新宿駅 山手線・中央総武緩行線 13～16番ホーム 仮設点字ブロック・ゴムマットに対するお客さまからのご意見と取組みについて

1. 取組み概要

2025(令和7)年8月上旬、視覚障害をお持ちのお客さまより、「工事中の新宿駅に設置された仮設点字ブロックが認識しづらい」というご意見をいただきました。その後、お客さまと現地の様子を確認し、改善に向けた具体的なご意見を頂戴しました。

同月中に仮設点字ブロックの交換、ゴムマットの一部養生等を実施したほか、いただいたご意見を踏まえ、仮設点字ブロックの素材変更および隣接するゴムマットの仕様変更等、追加対策を実施しました。

2. 背景－新宿駅改良工事－

JR新宿駅山手線・中央総武緩行線(13～16番線)ホームでは、ホームドア設置に向けたホーム改修工事、階段やエスカレーター等の駅施設改修工事を実施しています。

そのうち、ホーム構造を改良する工事期間中は、ホームに仮設の点字ブロックと養生用のゴムマットを敷設しています。

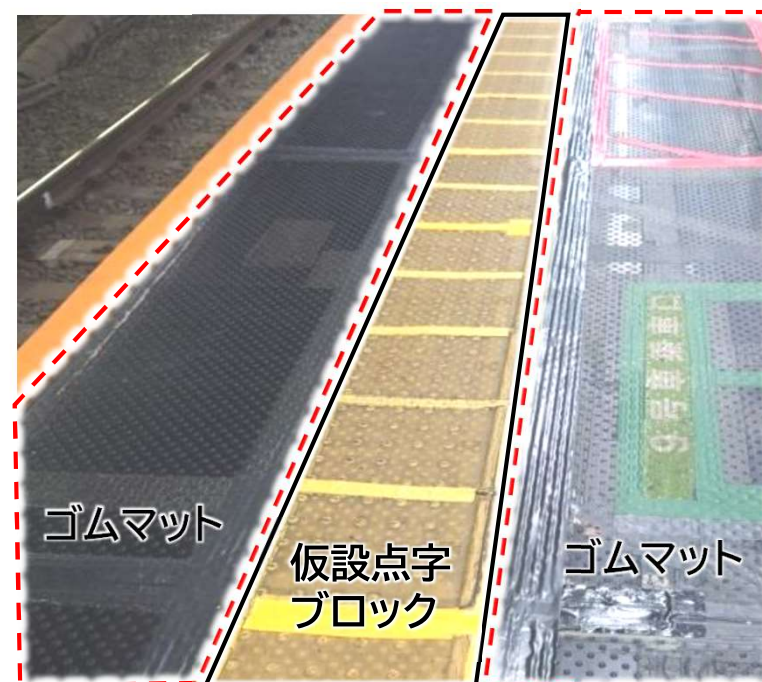
【用語】

点字ブロック

JIS規格に定められた「エコ点字パネルホームタイプ(ゴム製)」。
※劣化、凹凸の摩耗状態により適宜交換。

ゴムマット

他駅でも広く採用されている国交省推奨の一般的な製品。
雨天時の転倒防止のため、滑り止め用の凹凸がついている。

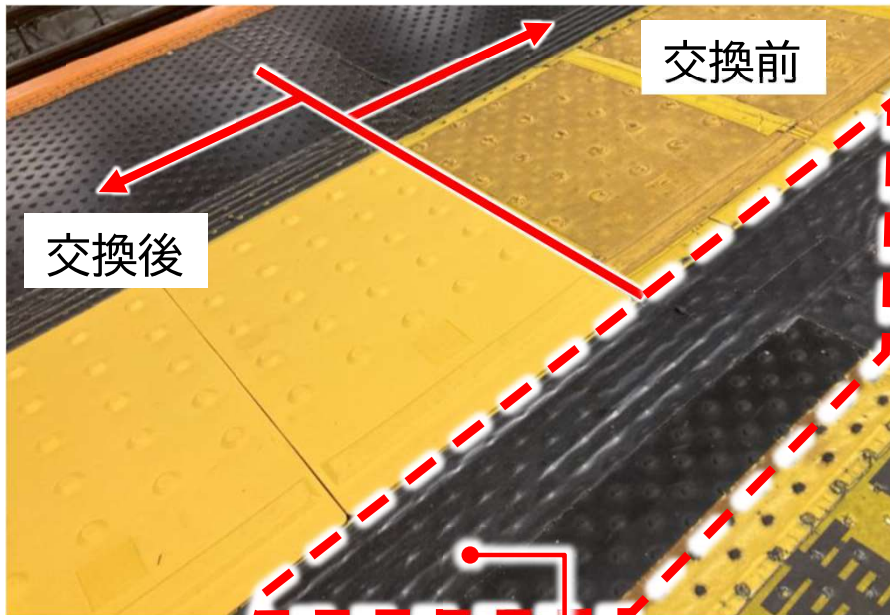


交換前の仮設点字ブロックとゴムマット

3. お客様のご意見に対する主な取組み内容

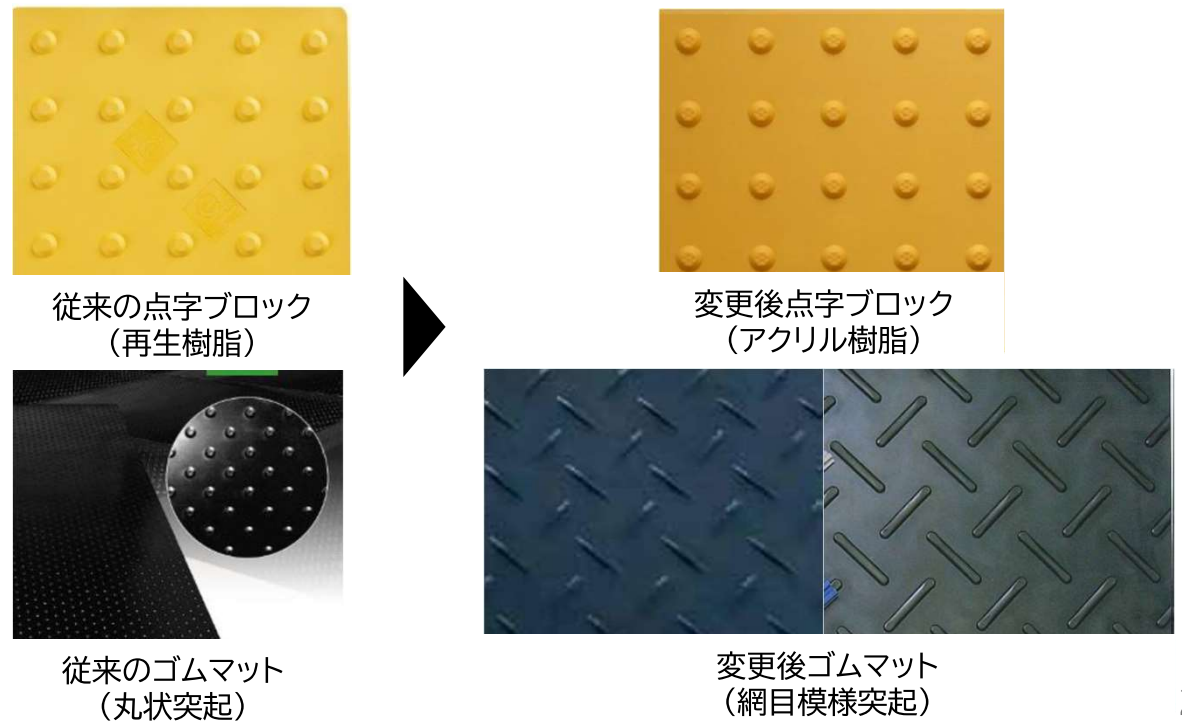
ご意見	取組み内容
点字ブロックの突起と ゴムマットの凹凸の区別がつきにくい	<ul style="list-style-type: none"> 点字ブロックとゴムマットの境界部について、養生テープによりゴムマットの突起を覆う
汚れていると 弱視の方には識別しづらい	<ul style="list-style-type: none"> 点字ブロックの交換 劣化、摩耗ではなく、汚れ(色落ち)の観点で点検を実施 作業箇所以外も定期的な清掃を実施
仮設の点字ブロックをゴム以外の 素材にしてみたい	<ul style="list-style-type: none"> ゴムマットと点字ブロックの違いを識別しやすい組み合わせの検討 視覚障害者団体を訪問し、より識別しやすい素材や模様についてご意見を伺う

★仮設点字ブロック交換状況



点字ブロックとの境界部は
養生テープ等でマットの突起を覆う

★違いを識別しやすい組み合わせの検討



4. その他の取組み

(1) ホーム上警備員の配置

8月上旬ご意見をいただいた直後より、ホーム上のゴムマットエリアに警備員を専属配置し、巡回を強化しています。

(2) 点字ブロックとゴムマットの識別体験

工事担当部署の社員を中心に、社内で実際に識別体験を実施しました。



(3) 違いを識別しやすいゴムマットと点字ブロックの組み合わせへの交換

視覚障害者団体や当該お客さまより、「識別しやすい」と評価をいただいた、「網目模様ゴムマット」+「アクリル樹脂製点字ブロック」の組み合わせへ交換を進めています。

新宿駅の工事中ホームにて、ゴムマット・点字ブロックの交換を進めるとともに、警備巡回を継続実施することでホーム上の安全性をより強化していきます